



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月27日

上場会社名 モーニングスター

上場取引所 東

コード番号 4765 URL <https://www.morningstar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 智也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小川 和久

TEL 03-6229-0810

四半期報告書提出予定日 2021年2月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け、当社ウェブサイトにて動画開示予定

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,479	11.1	1,284	10.7	1,579	12.9	984	3.3
2020年3月期第3四半期	4,931	6.8	1,160	10.3	1,398	0.1	953	1.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,128百万円 (23.4%) 2020年3月期第3四半期 914百万円 (21.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	11.62	
2020年3月期第3四半期	11.50	

潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	13,557	11,924	85.6	129.48
2020年3月期	12,388	9,108	71.9	107.43

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 11,611百万円 2020年3月期 8,905百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		7.00		8.00	15.00
2021年3月期		7.50			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の期末配当予想額は現時点で未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

業績予想につきましては、現時点では未定であります。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	89,673,600 株	2020年3月期	83,973,600 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	170 株	2020年3月期	1,081,170 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	84,766,452 株	2020年3月期3Q	82,892,430 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(2021年3月期の配当予想)

2021年3月期の期末配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案して、1株当たり配当を決定次第開示いたします。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2021年1月27日にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の動画は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)は、ファイナンシャル・サービス事業のメディア・ソリューションにおいて、新型コロナウイルス感染症への対応として、密閉・密集・密接の3密を避けることを求められ、オンラインでのセミナーに注力したものの、対面でのセミナーの開催規模、回数が大幅に減少し、セミナーとセミナーに附随する広告の売上が減少いたしました。

そのため、メディア・ソリューションの売上高は、前年同四半期(2019年4月1日～2019年12月31日)より323百万円(△39.1%)の減収となりました。ファイナンシャル・サービス事業のデータ・ソリューションの売上高は、前年同四半期の水準を維持したものの、ファイナンシャル・サービス事業の売上高は、前年同四半期より363百万円(△16.6%)の減収となりました。

一方、アセットマネジメント事業においては、公募の追加型投資信託の信託報酬が減ったものの、2019年12月に子会社としたSBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社およびSBI地方創生アセットマネジメント株式会社の私募の追加型投資信託の信託報酬が加わり、その債券型投資信託の純資産残高も順調に増加した結果、アセットマネジメント事業の売上高は、前年同四半期より911百万円(33.3%)の増収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高が前年同四半期の4,931百万円から5,479百万円(11.1%)の増収となる5,479百万円となりました。

また、売上原価は、前年同四半期の2,344百万円から241百万円(10.3%)増加し2,585百万円となり、販売費及び一般管理費は、前年同四半期の1,426百万円から182百万円(12.8%)増加し1,608百万円となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、前年同四半期の1,160百万円から124百万円(10.7%)の増益となる1,284百万円となりました。

営業外損益は、前年同四半期と比べ、純額で56百万円増加し、その結果、当第3四半期連結累計期間の経常利益は、前年同四半期の1,398百万円から180百万円(12.9%)の増益となる1,579百万円となりました。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期の953百万円から31百万円(3.3%)の増益となる984百万円となりました。

[連結業績の概要]

	2020年3月期第3四半期 連結累計期間		2021年3月期第3四半期 連結累計期間		増減	
	金額(千円)	利益率	金額(千円)	利益率	金額(千円)	比率
売上高	4,931,171		5,479,100		547,928	11.1%
営業利益	1,160,331	23.5%	1,284,924	23.5%	124,593	10.7%
経常利益	1,398,522	28.4%	1,579,304	28.8%	180,782	12.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	953,607	19.3%	984,969	18.0%	31,362	3.3%

連結売上高は9期連続の増収、4期連続で過去最高売上を更新しました。

経常利益は12期連続の増益、9期連続の過去最高益を記録しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、過去最高益を記録しました。

セグメント別売上高、サービス別売上高は、以下のとおりであります。

セグメント別売上高	前第3四半期連結累計期間 2019年4月1日から 2019年12月31日まで		当第3四半期連結累計期間 2020年4月1日から 2020年12月31日まで		増加率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
ファイナンシャル・サービス事業					
データ・ソリューション	1,365,076	27.7	1,325,606	24.2	△2.9
メディア・ソリューション	827,101	16.8	503,384	9.2	△39.1
計	2,192,177	44.5	1,828,991	33.4	△16.6
アセットマネジメント事業					
アセットマネジメント	2,738,994	55.5	3,650,108	66.6	33.3
計	2,738,994	55.5	3,650,108	66.6	33.3
連結売上高	4,931,171	100.0	5,479,100	100.0	11.1

1) ファイナンシャル・サービス事業

・データ・ソリューション

タブレットアプリの提供台数が前年同四半期の90,306台から11.4%増加し100,614台となったことなどにより、タブレットアプリによるファンドデータの売上が増加いたしました。一方、ロボアド・FinTech関連の単発受注案件が減少し、株式新聞購読料も減少しました。

その結果、データ・ソリューションの売上高は、前年同四半期の1,365百万円から39百万円(△2.9%)の減収となる1,325百万円となりました。

・メディア・ソリューション

オンラインでのセミナーの売上が加わったものの、新型コロナウイルス感染症により資産運用などの対面でのセミナーの開催規模、回数が大幅に減少し、セミナーとセミナーに附随する広告の売上が減少いたしました。

その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前年同四半期の827百万円から323百万円(△39.1%)の減収となる503百万円となりました。

2) アセットマネジメント事業

・アセットマネジメント

アセットマネジメント事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、公募追加型株式投資信託の信託報酬が減ったものの、2019年12月に子会社としたSBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社およびSBI地方創生アセットマネジメント株式会社の私募の債券型投資信託の信託報酬が加わり、2社の私募の債券型投資信託の運用残高が大幅に拡大しました。

その結果、アセットマネジメントの売上高は、前年同四半期の2,738百万円から911百万円(33.3%)の増収となる3,650百万円となりました。

セグメント別には、ファイナンシャル・サービス事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の2,192百万円から363百万円(△16.6%)の減収となる1,828百万円となりました。

セグメント利益は、前年同四半期の846百万円から322百万円(△38.0%)の減益となる524百万円となりました。

アセットマネジメント事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の2,738百万円から911百万円(33.3%)の増収となる3,650百万円となりました。

セグメント利益は、前年同四半期の313百万円から446百万円(142.5%)の増益となる760百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は前連結会計年度末と比較して1,168百万円増加し、13,557百万円となりました。

これは、流動資産が59百万円増加し、固定資産が1,084百万円増加し、繰延資産が25百万円増加したものであります。

流動資産の増加は、主として現金及び預金が474百万円減少し、売掛金が444百万円増加し、その他流動資産が89百万円増加したことによるものであります。

現金及び預金の減少は、主として公募による新株式発行および自己株式の処分等で2,943百万円の資金を調達し、借入金2,000百万円返済して、配当金を1,284百万円支払い、投資有価証券を930百万円購入したことによるものであります。

固定資産が前連結会計年度末と比較して1,084百万円増加したのは、主として投資有価証券が930百万円増加したためであります。

また、負債合計は前連結会計年度末と比較して1,646百万円減少し、1,633百万円となりました。

負債の減少は、主として、借入金2,000百万円の返済によるものであります。

公募による新株式発行および自己株式の処分等により、資本金が1,248百万円、資本剰余金が1,534百万円増加し、資本金が3,363百万円、資本剰余金が4,906百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間に984百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益が計上され、1,284百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が299百万円減少し、4,131百万円となりました。

公募による自己株式の処分等、自己株式が186百万円減少しました。保有する投資有価証券の時価が回復したことで、その他有価証券評価差額金が85百万円増加しました。主としてSBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社およびSBI地方創生アセットマネジメント株式会社の当期利益の増加により、非支配株主持分が109百万円増加しました。

その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して2,815百万円増加し、11,924百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、当社事業と関連性の高い金融市場において、その動向を当期を通じて、想定するのは難しく、また、本事業年度は新型コロナウイルス感染症による影響を予想するのはできないため、当社グループの業績を、現時点では合理的な算定を行なうことが困難であり、現時点では未定とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,369,342	3,895,069
売掛金	1,315,040	1,759,844
たな卸資産	※1 2,269	※1 1,945
その他	154,391	243,492
流動資産合計	5,841,042	5,900,352
固定資産		
有形固定資産	※2 80,295	※2 272,720
無形固定資産		
のれん	2,057,526	1,939,858
ソフトウェア	1,179,462	1,187,826
その他	223,466	385,966
無形固定資産合計	3,460,456	3,513,651
投資その他の資産		
投資有価証券	2,423,262	3,354,235
繰延税金資産	338,404	276,063
その他	245,488	215,395
投資その他の資産合計	3,007,156	3,845,693
固定資産合計	6,547,907	7,632,065
繰延資産		
株式交付費	-	25,436
繰延資産合計	-	25,436
資産合計	12,388,950	13,557,854

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	28,188	25,819
短期借入金	2,000,000	-
未払金	683,629	1,002,972
未払法人税等	294,019	240,468
未払消費税等	52,625	99,039
その他	221,905	265,343
流動負債合計	3,280,367	1,633,643
負債合計	3,280,367	1,633,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,115,620	3,363,635
資本剰余金	3,371,967	4,906,035
利益剰余金	4,431,174	4,131,311
自己株式	△186,865	△29
株主資本合計	9,731,896	12,400,952
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△829,327	△743,421
為替換算調整勘定	△735	△49,052
繰延ヘッジ損益	3,343	2,545
その他の包括利益累計額合計	△826,718	△789,928
非支配株主持分	203,405	313,187
純資産合計	9,108,582	11,924,210
負債純資産合計	12,388,950	13,557,854

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	4,931,171	5,479,100
売上原価	2,344,577	2,585,715
売上総利益	2,586,593	2,893,385
販売費及び一般管理費	※ 1,426,262	※ 1,608,460
営業利益	1,160,331	1,284,924
営業外収益		
受取利息	86,840	147,292
受取配当金	161,839	120,910
投資有価証券売却益	-	25,264
持分法による投資利益	-	5,840
為替差益	-	10,494
その他	1,459	1,708
営業外収益合計	250,139	311,510
営業外費用		
支払利息	11,092	16,447
為替差損	342	-
持分法による投資損失	513	-
その他	-	683
営業外費用合計	11,948	17,130
経常利益	1,398,522	1,579,304
特別利益		
段階取得に係る差益	14,100	-
特別利益合計	14,100	-
税金等調整前四半期純利益	1,412,622	1,579,304
法人税、住民税及び事業税	384,032	464,505
法人税等調整額	57,964	14,692
法人税等合計	441,997	479,198
四半期純利益	970,624	1,100,106
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,017	115,136
親会社株主に帰属する四半期純利益	953,607	984,969

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	970,624	1,100,106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,599	85,905
為替換算調整勘定	△22,443	△56,914
繰延ヘッジ損益	-	△797
その他の包括利益合計	△56,043	28,193
四半期包括利益	914,581	1,128,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	900,998	1,021,758
非支配株主に係る四半期包括利益	13,582	106,541

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

連結の範囲の変更

第1四半期連結会計期間において、SBI CoVenture Asset Management株式会社(現SBIオルタナティブ・アセットマネジメント株式会社)の発行済株式の30%を取得し、持分法の範囲に含めております。

当第3四半期連結会計期間において、SBIオルタナティブ・アセットマネジメント株式会社の発行済株式の70%を取得し、従来保有していた30%と合わせ、同社を完全子会社とし、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
仕掛品	-千円	907千円
貯蔵品	2,269	1,037

※2 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
	365,774千円	378,548千円

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
従業員給与	583,958千円	642,371千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
減価償却費	211,030千円	293,559千円
のれんの償却額	54,241	86,564

(株主資本関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2019年5月17日 取締役会	普通株式	利益剰余金	621,693	7.50	2019年3月31日	2019年6月3日
2019年8月28日 取締役会	普通株式	利益剰余金	580,247	7.00	2019年9月30日	2019年11月15日

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2020年5月19日 取締役会	普通株式	利益剰余金	663,139	8.00	2020年3月31日	2020年6月1日
2020年9月16日 取締役会	普通株式	利益剰余金	621,693	7.50	2020年9月30日	2020年11月16日

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年10月16日に、公募による新株式発行および自己株式の処分を行いました。その結果、当第3四半期連結累計期間において、発行済株式数が5,700,000株、資本金が1,248百万円、資本剰余金が1,534百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、発行済株式数が89,673,600株、資本金が3,363百万円、資本剰余金が4,906百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	四半期連結 損益計算書 計上額
	ファイナンシ ヤル・サー ビス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,192,177	2,738,994	4,931,171	-	4,931,171
セグメント間の内部売上高又は振替高	23,926	-	23,926	△23,926	-
計	2,216,103	2,738,994	4,955,098	△23,926	4,931,171
セグメント利益	846,827	313,503	1,160,331	-	1,160,331

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	四半期連結 損益計算書 計上額
	ファイナンシ ヤル・サー ビス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,828,991	3,650,108	5,479,100	-	5,479,100
セグメント間の内部売上高又は振替高	17,991	54	18,045	△18,045	-
計	1,846,982	3,650,163	5,497,146	△18,045	5,479,100
セグメント利益	524,612	760,312	1,284,924	-	1,284,924

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)
(単位: 千円)

売上高	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント計	4,955,098	5,497,146
セグメント間取引消去	△23,926	△18,405
四半期連結損益計算書の売上高	4,931,171	5,479,100

(単位: 千円)

セグメント利益	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント計	1,160,331	1,284,924
セグメント間取引消去	-	-
四半期連結損益計算書の営業利益	1,160,331	1,284,924

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	11円50銭	11円62銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	953,607	984,969
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	953,607	984,969
普通株式の期中平均株式数 (株)	82,892,430	84,766,452
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。